

子どもたちの心にたねをまこう！

柔軟な心をもつ子どもたちに、歌や紙芝居を楽しんでもらいながら、何かを感じ取ってもらう機会や環境などについて考えるきっかけにでもらえたら...



はるくんのおコーデオンとくまくまの拍子木の音が聞こえたら、さあ、紙芝居がはじまるよ！

はるくま*おはなしのたね

【お話を伺った人】

はるくん
すずき はるみ
鈴木 晴美さん

くまくま
すがわら じゅんこ
菅原 潤子さん



鈴木さんは保育士資格を取得。アコーディオンやウクレレ演奏で歌を歌うのがとても上手です。

菅原さんは中学・高校の国語科教諭免許を取得。「津 手づくり絵本の会」会員で、絵本の作画や製本などを手掛けています。

チクチク 縫い物が好きな
「はるくん」



カキカキ お絵描きが好きな
「くまくま」



「はるくま*おはなしのたね」の活動

子どもたちの心にたねをまこう！
小さくても、時間がかかっても、
芽が出てくれると いいな♪
どんな花が咲くかな？
おいしい実がなるかな？
そして、いつか、
新しいたねが生まれたらいいな♪

絵本などの読み聞かせの活動をしている『はるくま*おはなしのたね』。子どもたちにおはなしや歌の楽しさを伝えていきます。

読み聞かせに使う絵本や紙芝居の多くは図書館で探してくるのですが、時には自分たちでおはなしを考えて、紙芝居や絵本などをつくっています。そのなかには環境を題材とするオリジナル作品もあり、幼児を対象とした環境教育としても注目されています。

20年ほど前から手づくり絵本に携わってきた菅原さんと、保育士として働いていた経験を持つ鈴木さん。それぞれに豊富なおふたりがつくるプログラムの中

には、子どもたちが夢中になる要素がうまく取り入れられています。

おふたりの活動のはじまりは、ある紙芝居の読み手募集がきっかけでした。興味を持った菅原さんが友人の鈴木さんに「一緒にしてみない？」と声をかけたそうです。そして平成21年、『はるくま*おはなしのたね』を結成し、現在で活動は6年目になります。

そこで今回は、「はるくま*おはなしのたね」の読み聞かせの活動のようすやオリジナル作品がどのようにつくられているのか、などについて伺いました。はるくん♪とくまくまの楽しいおはなしの世界をご紹介します。

『はるくま*おはなしのたね』結成